

環境測定業務委託 仕様書

1 業務名

環境測定業務委託

2 測定場所

(1) 一般廃棄物処理施設

ア 東金市外三市町環境クリーンセンター

(2) 一般廃棄物最終処分場

ア 成東一般廃棄物最終処分場

イ グリーンオアシス大網

3 業務の目的

この業務は一般廃棄物処理施設における測定業務（廃棄物処理法及び大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、労働安全衛生法、東金市公害防止条例等に定められた各種分析業務）及び一般廃棄物最終処分場の適正な維持管理を行うための測定業務である。

4 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで（債務負担行為）

5 業務内容

(1) 一般廃棄物処理施設

ア 東金市外三市町環境クリーンセンターにおける業務内容は「A. 東金市外三市町環境クリーンセンター測定項目」に示すとおりとする。

(2) 一般廃棄物最終処分場

ア 成東一般廃棄物最終処分場及びグリーンオアシス大網における業務内容は「B. 成東一般廃棄物最終処分場測定項目」及び「C. グリーンオアシス大網測定項目」に示すとおりとする。

イ ダイオキシン類測定の際の採水作業については、平成12年4月26日環水企第231号に準じ作業にあたると共に、観測井については、必要に応じ井戸洗浄等を実施した後、採水すること。

ウ 成東一般廃棄物最終処分場観測井の試料採取作業については、観測井内に滞留した水をポンプ等で十分排水した後に採水すること。（最大採取深度 8.5m）

エ 各測定地点では、採取者氏名、採水年月日、採水時刻のほか、次の事項を調査し、記録するものとし、発注者から提供の指示があった場合には速やかに取りまとめ書

面等で報告すること。

天候、水温、気温、pH、電気伝導率、水位、採取深度、色相、臭気、透視度
オ 水槽内部に入り、採水を行う場合は採水前に酸素濃度及び有害ガス濃度の測定を行い、安全を確認した後に行うこと。また、ヘルメット及び安全帯等を着用し、事故防止を図ること。

6 サンプルング日

サンプルング日は、項目ごとに協議の上決定するものとするが、不慮のトラブル等により日程を変更することがある。

7 報告書

測定結果は年間報告書としてとりまとめ、2部（紙1部、電子データ1部）を提出する。また、測定結果が判明する都度、計量証明書等（書面及び電子データ）により報告するものとする。なお、ダイオキシン類測定結果についてはダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定に基づく測定結果報告書の書式により、併せて報告するものとする。

8 分析結果

分析の結果、明らかに不適當な値が検出された場合は、再度サンプルングを実施し、分析を行う。なお、費用については、受注者の負担とする。

9 機密保持

本委託業務により知り得た情報は、他の者に公表しないこと。

10 その他

本仕様書に定めのない事項により疑義を生じた場合は、双方協議して定めるものとする。

A. 東金市外三市町環境クリーンセンター測定項目

1 ばい煙測定等

廃棄物処理法及び一般廃棄物処理事業に伴う留意事項、大気汚染防止法等に定められた下記の測定（サンプリング含む）を行うものとする。

測定方法は、上記に対応する分析方法とする。

(1) 焼却炉排ガス中のばい煙測定

- ア ばいじん濃度（1 4 検体）
- イ 硫黄酸化物濃度（1 4 検体）
- ウ 塩化水素濃度（1 4 検体）
- エ 窒素酸化物濃度（1 4 検体）
- オ 排ガス量測定（1 4 検体）
- カ 水銀濃度測定（1 4 検体）

(2) 焼却残渣の熱灼減量

- ア 焼却残渣の熱灼減量（1 2 検体）

(3) 焼却灰の有害物溶出試験

- ア アルキル水銀化合物（1 検体）
- イ 水銀又はその化合物（1 検体）
- ウ カドミウム又はその化合物（1 検体）
- エ 鉛又はその化合物（1 検体）
- オ 六価クロム化合物（1 検体）
- カ ひ素又はその化合物（1 検体）
- キ P C B（1 検体）
- ク セレン又はその化合物（1 検体）
- ケ 1，4－ジオキサン（1 検体）

(4) 焼却飛灰の有害物溶出試験

- ア アルキル水銀化合物（1 検体）
- イ 水銀又はその化合物（1 検体）
- ウ カドミウム又はその化合物（1 検体）
- エ 鉛又はその化合物（1 検体）
- オ 六価クロム化合物（1 検体）
- カ ひ素又はその化合物（1 検体）
- キ P C B（1 検体）
- ク セレン又はその化合物（1 検体）
- ケ 1，4－ジオキサン（1 検体）

(5) ごみ質分析

- ア 単位容積重量（４検体）
- イ 水分（４検体）
- ウ 灰分（４検体）
- エ 可燃分（４検体）
- オ 種類別組成分析（１３種類：４検体）
（紙類、繊維類、ビニール類、プラスチック類、木草竹類、厨芥類、ゴム類、
皮革類、金属類、ガラス類、陶器類、不燃物類、その他）
- カ 低位発熱量（４検体）
- キ 高位発熱量（４検体）
- ク 元素分析（６元素：４検体）
（炭素、水素、窒素、可燃性硫黄、塩素、酸素）

２ ダイオキシン類測定

ダイオキシン類対策特別措置法第２８条（設置者による測定）に定められた下記の
分析を行うものとする。

測定方法は、上記に対応する測定方法とする。

(1) 焼却炉

- ア 排ガス中のダイオキシン類濃度（３検体）
- イ 焼却灰中のダイオキシン類濃度（３検体）
- ウ 焼却飛灰中のダイオキシン類濃度（３検体）
- エ 排ガス中の一酸化炭素濃度（連続分析計にて記録）（３検体）
- オ 排ガス中の酸素濃度（連続分析計にて記録）（３検体）
- カ 排ガス中の塩化水素濃度（３検体）
- キ 排ガス中のばい煙濃度（３検体）

３ 作業環境測定

労働安全衛生法等に定められた下記の作業環境測定を行うものとする。

測定方法は上記に対応する測定方法とする。

(1) 一般作業環境測定

年に２回測定するものとし、１回当たりの測定箇所は以下のとおりとする。

- ア プラットホーム
 - (ア) 吸入性質量濃度（１ポイント）
 - (イ) 相対濃度（１４ポイント）
 - (ウ) 遊離ケイ酸（１ポイント）

イ ホッパステージ

- (ア) 吸入性質量濃度（１ポイント）
- (イ) 相対濃度（１１ポイント）
- (ウ) 遊離ケイ酸（１ポイント）

(2) 作業環境空気中のダイオキシン類濃度測定

年２回測定するものとし１回あたりの測定箇所は以下のとおりとする。ただし、１回目はダイオキシン類濃度を実測により測定し、２回目は１回目の測定による係数により算出する。

ア ごみ焼却炉周辺

- (ア) ダイオキシン類（コプラナＰＣＢ含む）
- (イ) 粉塵量測定（１２ポイント）

イ ごみ焼却施設飛灰集じん器周辺

- (ア) ダイオキシン類（コプラナＰＣＢ含む）
- (イ) 粉塵量測定（６ポイント）

4 騒音振動測定

当施設の騒音振動が東金市環境保全条例に定められた値以内であることを確認する為に下記の測定を行うものとする。

測定方法は、上記に対応する測定方法とする。

(1) 騒音測定

測定地点は東金市外三市町環境クリーンセンターの敷地境界の４地点とし１地点につき朝、昼、夕、夜間の４回の測定を行う。測定地点の詳細については、添付の図面を参照すること。

(2) 振動測定

測定地点は騒音測定と同じ４地点とし、１地点につき昼、夜間の２回の測定を行う。

5 福利厚生施設

下記の区分に従い福利厚生施設の水質分析を行うこと。

(1) 上がり用湯

ア 回数：年２回

イ 検査項目：色度、濁度、水素イオン濃度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌、レジオネラ属菌

ウ 検査方法

- (ア) 色度、濁度、水素イオン濃度、過マンガン酸カリウム消費量及び大腸菌の検査方法はそれぞれ「水質基準に関する省令」（平成１５年厚生省令第１０１号）で定める検査方法によること。

(イ) レジオネラ属菌の検査方法は、冷却遠心濃縮法又はろ過濃縮法のいずれかによること。

エ 採取箇所：洗い場シャワー水

(2) 浴槽水

ア 回数：年2回

イ 検査項目：濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌数、レジオネラ属菌

ウ 検査方法

(ア) 濁度、過マンガン酸カリウム消費量及びレジオネラ属菌の検査方法については上記(1)③の検査方法によること。

(イ) 大腸菌の検査方法

「下水の水質の検定方法等に関する省令」(昭和37年厚生省令・建設省令第1号)別表第1(第6条)の大腸菌数の検定方法によること。

エ 採取箇所：内風呂及び露天風呂

B. 成東一般廃棄物最終処分場測定項目

放流水等について、廃棄物処理法等に定められた下記の測定を行うものとする。なお、分析方法は、別表に記載したとおりとする。

1 放流水

- (1) 別表1の1)～5)の5項目 (年12回実施)
- (2) 別表1の6)～43)の38項目 (年1回実施)
- (3) 別表5の項目 (年1回実施)

2 地下水及び観測井No.1・観測井No.2・観測井No.3

- (1) 別表2の1)～2)の2項目 (年12回実施)
- (2) 別表2の3)～27)の25項目 (年1回実施)
- (3) 別表5の項目 (観測井No.1及び観測井No.2のみ年1回実施)

3 保有水

- (1) 別表3の1)～5)の5項目 (年4回実施)
- (2) 別表3の6)～43)の38項目 (年2回実施)
- (3) 別表5の項目 (年1回実施)

4. ガス分析・地中温度

- (1) 別表6の項目
ガス分析5ヶ所・地中温度4ヶ所 (年1回実施)

C. グリーンオアシス大網測定項目

放流水等について、廃棄物処理法等に定められた下記の測定を行うものとする。なお、分析方法は、別表に記載したとおりとする。

1 放流水

- (1) 別表 1 の 1) ～ 5) の 5 項目 (年 1 2 回実施)
- (2) 別表 1 の 6) ～ 4 3) の 3 8 項目 (年 1 回実施)
- (3) 別表 5 の項目 (年 1 回実施)

2 被圧地下水及び観測井上流・観測井下流

- (1) 別表 4 の 1) ～ 2) の 2 項目 (年 1 2 回実施)
- (2) 別表 4 の 3) ～ 2 7) の 2 5 項目 (年 1 回実施)
- (3) 別表 5 の項目 (観測井上流及び観測井下流のみ年 1 回実施)

3 保有水

- (1) 別表 3 の 1) ～ 5) の 5 項目 (年 4 回実施)
- (2) 別表 3 の 6) ～ 4 3) の 3 8 項目 (年 2 回実施)
- (3) 別表 5 の項目 (年 1 回実施)